





SDGsとは、Sustainable Development Goalsの頭文字をとったものです。地球上のさまざまな問題を解決するために、2015年に国連総会にて、2030年までに達成しようと決められた17の目標です。



目標1
貧困をなくそう



目標7
エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



目標13
気候変動に
具体的な対策を



目標2
飢餓をなくそう



目標8
働きがいも
経済成長も



目標14
海の豊かさを守ろう



目標3
すべての人に
健康と福祉を



目標9
産業の技術革新の
基盤をつくろう



目標15
陸の豊かさを守ろう



目標4
質の高い教育を
みんなに



目標10
人や国の不平等を
なくそう



目標16
平和と公正を
すべての人に



目標5
ジェンダー平等を
実現しよう



目標11
住み続けられる
まちづくりを



目標17
パートナーシップで
目標を達成しよう



目標6
安全な水とトイレを
世界中に



目標12
つくる責任
つかう責任

Sustainable Development Goalsは、日本語で「持続可能な開発目標」です。

たとえば、地球温暖化が進むと、ゲリラ豪雨や台風が頻繁に起きて食べ物が収穫できなくなったり、絶滅する動物が増えたりしてしまいます。このような世界は持続可能ではありません。持続可能とは、今も、そして未来も続いていくこと。つまり、SDGsは地球をずっと持続させる、人々が暮らし続けられるようにするための目標です。

SDGsでは、「誰一人取り残さない」という考え方を大切にしています。

SDGsはこの地球に住むすべての人々が、力を合わせて達成しなければならない世界共通の目標なのです。

私たちにできるアクションを一緒に考えてみましょう。



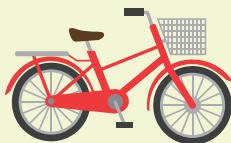
スーパーで並んでいる食品を手前から取る



マイボトルやマイバッグの持ち歩き



☑ なるべく徒歩や自転車、公共交通機関で移動



☑ 地域の清掃・美化活動に参加



☑ 募金・寄付活動に参加



☑ 地域の祭り・イベントに参加





節電や節水を日々心がける



地域や職場等の防災訓練に参加



地元の店で食事・買い物する



あなたもSDGsに貢献できる事がきっと見つかります。
ぜひ、未来の地球のために宣言を作ってみましょう。

わたしのSDGs宣言



SDGs未来都市 足立区

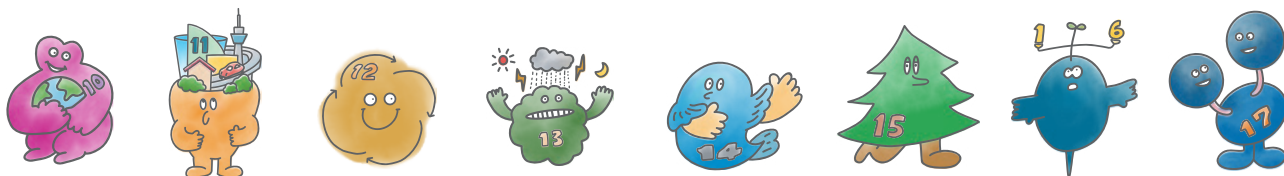
内閣府は優れたSDGsの取組を提案する地方自治体を「SDGs未来都市」として、
その中で特に先導的な取組を「自治体SDGsモデル事業」として選んでいます。

足立区は2022年度に「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」にダブル選定されました。

地域住民が生き生きと活動できる場所や、子どもたちがロールモデル（「こんな風になりたい」と思える大人）と出会える機会を生み出す中で、社会とつながり、逆境を乗り越える力を培い、安心して暮らせる持続可能なまちの実現を目指しています。



詳細は区HPへ



足立区では、「貧困の連鎖の解消」と「区に対するマイナスイメージの払拭」に向けて、住民の方々が「逆境を乗り越える力」を身につけていくために、複数のSDGsモデル事業を展開しています。

SDGsモデル事業①

あやセンター

「あやセンター ぐるぐる」は、20年近く空き店舗だったJR常磐線綾瀬駅西口高架下物件をリノベーションし、新たな交流と賑わいの創出拠点として、2023年10月29日にオープンしました。

コンセプトは「やってみたいを、やるみる」。何かを始めたい人、応援し合える人が集まる場として、本屋／キッチン／チャレンジの場を併設した空間です。

様々な人や活動がこの場で交わり、協力しあって、やってみたいことを実現していくというコミュニティの循環（＝ぐるぐる）を生み出すことを目指しています。

施設Information

足立区綾瀬4-6-34
(綾瀬駅西口より徒歩3分)



公式HP



公式 Instagram



ぐるぐる



足立区は、あやセンターの取組みが評価され、2024年度グッドデザイン賞を受賞しました。



GOOD DESIGN AWARD
2024年度受賞



オアシス
oasis

「やってみたい」を見つける場。多種多様なテーマの本・雑貨の販売や気軽にコミュニケーションが取れるカウンターを併設。



「やってみたい」を相談し、実現する場。常駐しているコミュニティビルダーとbaseで相談を重ね、parkで企画を実現させます。

※通常時はドリンク提供するカフェとして運営



SDGsモデル事業②

アヤセ未来会議

街を良くするためのアイデアを自ら考え、形にしていくワークショップで、令和4年度からスタート。

主体的な活動が数多く生まれています。



SDGsモデル事業③

あだちSDGs パートナー

持続可能なまちづくりに向けて、一緒に取り組む事業者・団体を「あだちSDGsパートナー」として登録。「パートナーMeeting」を開催して交流を深めています。





未来の足立、こう





な っ た ら い い な 。



逆境を乗り越える
誰かの背中をそっと押す
メッセージ



なりた なつき
成田 夏紀

千住にある成田酒店の後継者で、イラストレーターとしても活動中。成田酒店がある地域「奥千住」で街とお店同士の横のつながりを深める地域活動でも、発起人として活動しています。



Q.未来に残したい足立区の魅力は？

昔ながらのご近所づきあいができる関係や、人と人との横のつながりは、これからもずっと残ってほしいです。

Q.人とのコミュニケーションで大切にしていることは？

フラットにみんなの意見を聞いて、否定せずに相手へのリスペクトを持つように心がけています。「奥千住 Map」に興味を持っているお店があると聞けば、アナログだけれども自分から足を運んで会いに行っています。

Q.これまでの経験で、今の自分に影響を与えた出来事は？

美容師の専門学校に通っていた時、自分が美術系の高校出身だったこともあって、一時アート寄りのヘアメイクに走っていました。そんな自分に先生が言ってくれた「自分のやりたいことをやっているだけじゃ、一人前にはなれない」という言葉にハッとさせられました。この言葉は今の自分にも生きています。

Q.何か悩んだり、くじけそうになったりした時はどうしている？

これやった先にこんな良いことがきつとある、という前向きな想像をしてモチベーションを上げています。そして、その悩みをとりあえず口に出してみます。意外と誰かが助けてくれたり、自分にはない発想をくれたりするんですよ。

Q.最後に若者へメッセージを！

何か想いがあるなら、とりあえずやってみることが大切。今は様々なツールがあって誰でも気軽に発信できるので、まずは身近な誰かに見せるのも良いんです。まずは発信できるところまで頑張れば、必ず自信につながります。

逆境を乗り越える
誰かの背中をそっと押す
メッセージ



くらもち
倉持 めい

地元で喫茶店のコーヒーを飲みながら街について語り合うアヤセしみじみ会への参加を機に、コーヒースタンドの出店に挑戦。「からまるコーヒー」として、区内の様々なイベントで、ハンドドリップコーヒーを販売しています。



Q.未来に残したい足立区の魅力は？

バスを待っているときに「今日は暑いね」とか、そんな会話が自然とできるような人と人とのつながりは、ずっと残ってほしいです。みんな仲良しなのが、足立区の素敵な所だと思います。

Q.人とのコミュニケーションで大切にしていることは？

会話を一番大切にしています。会話がなければ相手を知ること、こちらを知ってもらうこともできないので、「この人なんだか話しやすいな」と思ってもらえるように、普段から意識しています。

Q.これまでの経験で、今の自分に影響を与えた出来事は？

幼い頃は親の病気や家庭環境の関係で、苦しかった思い出が少なからずあります。だからこそ今は悩んでいる人がいたら、お悩み相談までいかずとも、せめて愚痴の聞き役だけでもできたらと思っています。

Q.何か悩んだり、くじけそうになったりした時はどうしている？

自分を慰めるのも叱るのも自分自身しかないので、私は思いっきりたくさん泣きます。その後で、特別な洋服を買ったりカフェへ行ったり。気持ちの切り替えをはっきりさせるのが大切だと感じています。

Q.最後に若者へメッセージを！

これまで大変なこともありましたが、いろんな人に支えてもらって何とか生きてこられたと思っています。だから、大変なことがあっても生きていれば何とかなるよ、と伝えたいです。

逆境を乗り越える
誰かの背中をそっと押す
メッセージ



さわだ そういちろう
澤田 壮一朗

大学で心理学を学びながら「アヤセしみじみ会」などが主催する地域活動に参加。大学のゼミでは地域創生をテーマに、コーヒーを介した地域の人たちの交流促進策などを計画しています。



Q.未来に残したい足立区の魅力は？

大きなイベントが減っていく地域（足立区外）で過ごしてきたので、足立区の「しょうぶまつり」のように活気あるイベントはずっと続いてほしいですね。

Q.人とのコミュニケーションで大切にしていることは？

すごくビビリな性格なので、初対面の人と話す時は声が小さくなってしまったり、体が硬くなったりしてしまいがちなのですが、いつも「挑戦するぞ」という気持ちで臨んでいます。

Q.これまでの経験で、今の自分に影響を与えた出来事は？

高校時代に精神的なプレッシャーで押しつぶされてしまった時、周囲に助けてもらって救われました。だからこそ今は、ボランティアで誰かの役に立ちたい、地域で活動して恩返しをしたいと思っています。

Q.何か悩んだり、くじけそうになったりした時はどうしている？

自分の場合は受験で挫折して対人恐怖症に陥ってしまいました。しかし、その時期を経験したからこそ、人を元気にする勉強をしたくて今の大学へ進学することができたんです。病気で失ったものだらけだと思っていましたが、今となっては得るものばかりだったと感じています。

Q.最後に若者へメッセージを！

自分のモットーなのですが「毎日の生活に情熱とゆとりを」という言葉をお伝えしたいです。情熱をもって物事に取り組んで、ゆとりを持って生きられれば、きっと毎日が彩られていくと信じています。

逆境を乗り越える
誰かの背中をそっと押す
メッセージ



もりや いくこ
守屋 郁子

介護予防運動指導者として、「あやセンター ぐるぐる」にて体操教室を開催。
誰でもできる・家でも続けられる
体操を提案し、初心者でも
挑戦しやすい運動習慣に
つながりやすい内容が好評
を博しています。



Q.未来に残したい足立区の魅力は？

若者から高齢者までみんな元気があって、街として盛り上がっているのが足立区の魅力だと思います。特に北千住は様々な場面で取り上げられているので、特に熱量を感じますね。

Q.人とのコミュニケーションで大切にしていることは？

相手のことを承認し、話をよく聞くこと。そして壁を作らずに本心で話すことを意識しています。こちらが心を開けば、相手も開いてくれるという考え方で接しています。

Q.これまでの経験で、今の自分に影響を与えた出来事は？

子どもの頃から HSP（敏感で周囲からの刺激を受けやすい気質）で、生きづらさを抱えながら過ごしてきました。体が健康でも心が元気でなければ、楽しく人生を送ることはできないことに気づけましたし、今度は同じ境遇の方たちをサポートしていきたいと思っています。

Q.何か悩んだり、くじけそうになったりした時はどうしている？

まず感情を口に出して泣きますね。泣いて気持ちを出すことで空間を生んで、落ち着いたら好きな趣味や遊びを楽しんでいます。

Q.最後に若者へメッセージを！

まずは自分の心の声を聴いて、自分自身を大切にしてほしいと思います。そしてできれば一人にならないで、誰か相談できる人、つながれる人を見つけてみてください。

逆境を乗り越える
誰かの背中をそっと押す
メッセージ



かわばた きめえ
川畑 絹江

「あやセンター ぐるぐる」の事務担当スタッフとして施設運営をサポート。最初は独学で始めた木彫り等を生かすための相談で訪れるも、ぐるぐるが求めているスタッフスキルと、自身の事務経験が合致したため、スタッフ採用された経歴の持ち主です。



Q.未来に残したい足立区の魅力は？

きれいに整備された公園や、川辺などの自然が魅力的ですね。昔からあるような個人のお店も素敵で、長く続いてほしいと思います。

Q.人とのコミュニケーションで大切にしていることは？

ぐるぐるは赤ちゃんを連れたお母さんや小学生だけでの来館も多いので、自分の子育て経験を活かしながら声かけをしたり、時には寄り添えるように意識しています。

Q.これまでの経験で、今の自分に影響を与えた出来事は？

一人で3人の子どもを育てたので、子どもの貧困や格差を感じる場面は少なからずありました。どんな形かは分かりませんが、いつか自分の経験を別の誰かのために役立てられたらと考えています。

Q.何か悩んだり、くじけそうになったりした時はどうしている？

無心で木彫りをしながら動画を見る。あとはよく空を見上げます。足立区は高い建物が比較的少ないので、空が広く感じられて好きですね。

Q.最後に若者へメッセージを！

自分の経験から、女性はホルモンや身体的な要素で意図せず辛い思いをすることもあると思います。けれど、昔は我慢するしかなかったことも、今は必ずしもそうではないこともあるので、ぜひいろんな人に相談したり情報を集めたりして、少しでも楽に生きてほしいです。

逆境を乗り越える
誰かの背中をそっと押す
メッセージ



わたなべ かつとも

渡邊 克知

主に古紙リサイクルや資源ごみ回収を
請け負っている株式会社新井商店の、
統括本部 回収推進部の部長。
粗大ごみの受け入れや
集積所の古紙回収といった
足立区の清掃行政にも貢献
しています。



Q.未来に残したい足立区の魅力は？

商店街はずっと残ってほしいです。いわゆる個人商店は個性が出るし、それは
フランチャイズ店舗にはなかなか出せない味だと思います。

Q.人とのコミュニケーションで大切にしていることは？

まずは主を相手にすることを心がけています。相手の話したいことや言いたいこ
ことを先にして、仮に受け入れられない内容であっても、まずは耳を傾けています。

Q.これまでの経験で、今の自分に影響を与えた出来事は？

幼い頃に母親を亡くしたこともあってか、周りの大人がとても気を遣って接し
てくれて、たくさんの優しさをもらいながら過ごせました。そんな経験がある
ので、今度は大人になった自分が、かつて自分がそうしてもらったように、周
囲への優しさを忘れないようにしたいと思っています。

Q.何か悩んだり、くじけそうになったりした時はどうしている？

自分でどうにもならなかったら、素直に誰かを頼るようにしています。そして
少し言い方は悪いのですが、時には周りからどう思われようが「今自分は辛い
んだ」と発散して開き直すことも大事だと感じています。

Q.最後に若者へメッセージを！

自分を大切に、自分の好きなことや得意なことを信じて生きてほしいです。
生き生きと楽しそうに行動を起こす、そんな姿を見て育った子どもたちが大人
になったとき、きっと足立区はさらに良い街になっていると思います。

逆境を乗り越える
誰かの背中をそっと押す
メッセージ



しみず
清水 かな

成人式や結婚式のような特別な日だけではなく、普段の生活の中でも気軽に写真を撮ってもらいたいという気持ちから始まった遺影撮影会「遺影イエイ!!!」を月1のペースで開催。
足立区内のコミュニティイベントにフォトグラファーとして呼ばれることも多く、育児の合間を縫って、自転車です区内を駆け回っています。



Q.未来に残したい足立区の魅力は？

大谷田の「BOOKMARK」や綾瀬の「あやセンター ぐるぐる」といった、人と繋がることができ、地域の方が活動できる場所は今後も残ってほしいです。

Q.人とのコミュニケーションで大切にしていることは？

変な緊張はしないようにしています。力まない、心を軽く、構えずにいい。恰好をつけるよりもありのままの自然体がいいです！

Q.これまでの経験で、今の自分に影響を与えた出来事は？

子どもの頃から絵を描くこと、折り紙を折ること、工作がとにかく大好きでした。それを母が「すごい！上手！」と必ず褒めてくれたことが嬉しかったです。その体験が今の作品を作り出すことに繋がっています。誰かに何かをしてもらうより、自分が何かをしてあげることが好きなことも影響を受けていると思います。

Q.何か悩んだり、くじけそうになったりした時はどうしている？

飲みに行くこと！今は子育て中ということもあり、頻繁に飲みには行けませんが、月に数回の楽しみになっています。美味しいお酒を飲みながら他愛もない話をするとすっきりします。

Q.最後に若者へメッセージを！

自分は学生のころ、ずっと作品を生み出すことばかりを考えていて鬱々としていました。あまり外出せず、人とも喋らない生活を送っていた。今思えばすごくもったいないことなので、外に出て色々な人と話して繋がることが大切ということをお伝えしたいです。

足立区のSDGsが丸わかり！

足立区SDGs未来都市特設サイトは、足立区のSDGsに関する情報をまとめたサイトです。ぜひチェックしてみてください。

特設サイト



あだち SDGs



区のSDGsの取組を広げていくために、オリジナルSDGsロゴを用意しています。申請すればどなたでも使用できますので、詳細は足立区ホームページをご覧ください。

知ると分かる。すると変わる。



SDGs MODEL ADACHI



知ると分かる。
すると変わる。

SDGs MODEL ADACHI



▲ 使用はコチラ

知ると分かる。すると変わる。



SDGs MODEL ADACHI

